



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <https://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊嶋哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 曾根芳之 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 2024年2月5日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	283,806	△3.5	15,986	△42.6	19,912	△35.9	20,908	14.4
2023年3月期第3四半期	294,205	9.5	27,835	△23.5	31,087	△20.5	18,283	△33.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 29,390百万円(△10.8%) 2023年3月期第3四半期 32,958百万円(13.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	98.95	98.90
2023年3月期第3四半期	86.35	86.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	547,374	359,654	65.1
2023年3月期	522,868	339,308	64.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 356,584百万円 2023年3月期 336,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	18.00	ー	18.00	36.00
2024年3月期	ー	20.00	ー		
2024年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	374,000	△3.8	18,500	△31.9	23,500	△25.1	26,500	150.7	125.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正については、本日(2024年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	229,513,656株	2023年3月期	229,513,656株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	18,198,128株	2023年3月期	18,235,195株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	211,293,242株	2023年3月期3Q	211,733,751株

※ 当社は、第2四半期連結会計期間より「株式給付信託(BBT-RS)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間を振り返りますと、世界的な金融引き締め政策の継続による景気下振れリスクや金融資本市場の変動等の懸念はなお拭えず、また中国経済低迷や中東地域をめぐる情勢の影響も加わり、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、「ZΣ運動」による徹底したコスト削減や、生産革新活動に注力するとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,838億6百万円となり、前年同期間に比べて103億99百万円の減収となりました。また、営業利益は159億86百万円と前年同期間に比べて118億49百万円の減益、経常利益は199億12百万円と前年同期間に比べて111億75百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は209億8百万円と前年同期間に比べて26億25百万円の増益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、主要市場である自動車産業向けを中心に需要は回復傾向にあり、出荷増や為替影響などにより売上高は前年同期間を上回ったものの、市況価格下落等により、営業利益は前年同期間を下回りました。

合成ラテックス関連では、医療・衛生用手袋の流通在庫が引き続き過剰で需給の緩みが解消せず、売上高は前年同期間を下回りましたが、コスト削減に取り組み、営業利益は前年同期間比横ばいとなりました。

化成品関連では、粘着テープ・ラベル向けの世界的な需要回復の遅れによる出荷減や市況価格下落等により、売上高、営業利益ともに前年同期間を大幅に下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて76億51百万円減少し1,596億82百万円、営業利益は前年同期間に比べて60億45百万円減少し61億64百万円となりました。

(高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、モバイル端末向け光学フィルムのテレワーク特需が一巡したものの、大型テレビ向け光学フィルムの販売回復、医療用途向け光学樹脂の需要堅調により、高機能樹脂関連全体の売上は前年同期間を上回りました。一方、光学フィルム新生産ラインの稼働開始に伴う費用増により、全体の営業利益は前年同期間を下回りました。

電池材料関連では、第3四半期に入り販売が好調に推移しましたが、第2四半期までの中国経済低迷による需要落ち込みの影響を挽回するには至らず、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

化学品関連では、合成香料の販売が需給バランス緩和の影響を受けたことに加え、特殊溶剤が主力生産工場の定期修理に伴う出荷量調整を行ったこと等により、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

電子材料関連では、半導体市場の低迷による半導体メーカーの稼働率低下の影響を受け、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

トナー関連では、顧客生産調整の影響により売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて24億30百万円減少し790億73百万円、営業利益は前年同期間に比べて63億49百万円減少し101億92百万円となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業においては、RIM配合液等の売上高が前年同期間を上回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて1億22百万円増加し485億85百万円、営業利益は前年同期間に比べて13億35百万円増加し27億40百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、245億6百万円増加し、5,473億74百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、有形固定資産の増加等によるものであります。

(負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ、41億61百万円増加し、1,877億20百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、その他の流動負債の増加等によるものであります。

(純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ、203億45百万円増加し、3,596億54百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、最近の業績動向を踏まえ、2024年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2024年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,082	45,494
受取手形及び売掛金	79,622	84,096
電子記録債権	3,972	4,252
商品及び製品	97,345	92,198
仕掛品	7,657	7,811
原材料及び貯蔵品	22,450	22,542
未収入金	43,816	38,171
その他	11,801	12,547
貸倒引当金	△113	△127
流動資産合計	296,631	306,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,912	45,226
機械装置及び運搬具（純額）	31,467	40,499
土地	15,393	15,893
建設仮勘定	20,425	25,300
その他（純額）	4,726	5,281
有形固定資産合計	113,924	132,199
無形固定資産		
その他	4,442	5,356
無形固定資産合計	4,442	5,356
投資その他の資産		
投資有価証券	100,113	94,107
繰延税金資産	728	1,055
その他	7,249	7,891
貸倒引当金	△219	△219
投資その他の資産合計	107,871	102,835
固定資産合計	226,237	240,390
資産合計	522,868	547,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,659	80,122
電子記録債務	3,122	3,418
短期借入金	8,960	8,960
コマーシャル・ペーパー	19,000	20,000
未払法人税等	2,898	2,668
賞与引当金	2,625	800
修繕引当金	5,634	3,272
その他の引当金	47	12
その他	34,641	44,383
流動負債合計	160,587	163,634
固定負債		
繰延税金負債	2,272	2,555
退職給付に係る負債	13,759	13,955
修繕引当金	930	1,247
その他の引当金	46	145
その他	5,965	6,184
固定負債合計	22,973	24,086
負債合計	183,560	187,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,137	19,599
利益剰余金	268,363	279,737
自己株式	△19,024	△19,435
株主資本合計	292,688	304,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,538	31,766
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	11,823	20,322
退職給付に係る調整累計額	262	387
その他の包括利益累計額合計	43,623	52,472
新株予約権	88	88
非支配株主持分	2,910	2,982
純資産合計	339,308	359,654
負債純資産合計	522,868	547,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	294,205	283,806
売上原価	204,940	207,081
売上総利益	89,265	76,725
販売費及び一般管理費	61,430	60,739
営業利益	27,835	15,986
営業外収益		
受取利息	140	184
受取配当金	2,545	2,418
為替差益	585	2,129
持分法による投資利益	93	80
雑収入	441	278
営業外収益合計	3,804	5,090
営業外費用		
支払利息	67	50
休止固定資産減価償却費	173	559
投資事業組合運用損	51	348
雑損失	260	208
営業外費用合計	551	1,164
経常利益	31,087	19,912
特別利益		
固定資産売却益	3	8
投資有価証券売却益	47	11,036
特別利益合計	50	11,044
特別損失		
固定資産処分損	121	503
減損損失	5,732	1,575
その他	143	162
特別損失合計	5,996	2,240
税金等調整前四半期純利益	25,142	28,716
法人税等	6,642	7,880
四半期純利益	18,500	20,836
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	217	△72
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,283	20,908

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	18,500	20,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,658	228
繰延ヘッジ損益	△7	△1
為替換算調整勘定	11,507	8,024
退職給付に係る調整額	18	124
持分法適用会社に対する持分相当額	281	180
その他の包括利益合計	14,458	8,555
四半期包括利益	32,958	29,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,431	29,318
非支配株主に係る四半期包括利益	528	73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）および流動負債（その他）として繰り延べております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	164,753	81,486	246,239	47,965	294,205	—	294,205
外部顧客への売上 高	164,753	81,486	246,239	47,965	294,205	—	294,205
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	2,580	17	2,596	499	3,095	△3,095	—
計	167,333	81,503	248,836	48,464	297,300	△3,095	294,205
セグメント利益	12,209	16,541	28,750	1,405	30,155	△2,320	27,835

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,320百万円は、セグメント間取引消去22百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,342百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」、「高機能材料事業」、各報告セグメントに配分していない「全社資産」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「エラストマー素材事業」70百万円、「高機能材料事業」162百万円、「全社資産」5,500百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	156,737	79,044	235,781	48,024	283,806	—	283,806
外部顧客への売上 高	156,737	79,044	235,781	48,024	283,806	—	283,806
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	2,945	29	2,974	561	3,535	△3,535	—
計	159,682	79,073	238,755	48,585	287,341	△3,535	283,806
セグメント利益	6,164	10,192	16,356	2,740	19,096	△3,110	15,986

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,110百万円は、セグメント間取引消去25百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,135百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」、「高機能材料事業」、各報告セグメントに配分していない「全社資産」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「エラストマー素材事業」1,149百万円、「高機能材料事業」124百万円、「全社資産」302百万円であります。

(重要な後発事象)

(令和6年能登半島地震にかかる当社の財政状態及び経営成績への影響)

2024年1月に発生した令和6年能登半島地震の影響により、当社のプラスチックフィルムの生産拠点である氷見二上工場（富山県氷見市、富山県高岡市）等の操業停止や一部の有形固定資産および棚卸資産等に被害がありました。

現時点において入手可能な情報に基づいて算定した結果、生産設備の損傷等に伴う操業停止期間中の損失、原状回復費用、棚卸資産の廃棄等による災害損失は約18億円を見込んでおります。なお、今後、固定資産の修繕などの見積り内容に変更が生じた場合などにより損害額が変動する可能性があります。